

(仮称) 駅周辺のまちなみガイドライン (たたき台)

■ 駅周辺の景観づくりのテーマと方針

駅周辺は中心市街地として地域の人が日常的に集い、来訪者が行き交うことから、誰もが過ごして楽しく、憩い、またここに来たいと思える空間づくりを目指します。また、地域の人々などが交流する中で互いに思いやりを持ち、景観づくりに取り組むことを目指して、駅周辺の景観づくりのテーマと方針を以下とします。

「人々の交流の中で生まれるにぎわいと憩い、おもてなしを感じる駅周辺の街なみ」

1. 駅施設・駅前広場の方針 (対象エリア: 駅前広場(東側)エリア、駅前広場(西側)エリア)

「羊蹄の四季の恵み ～ ふるさとの風景と玄関口にふさわしい潤いのある空間 ～」

2. 左右の軸の方針 (対象エリア: 西 3 丁目通エリア)

「駅前広場と一体感のある おもてなしを感じる街なみ」

3. 正面の軸 (駅前通り) の方針 (対象エリア: 駅前通りエリア)

「歩く楽しみを感じて集まり にぎわい広がる駅前通り」

4. 国道 5 号の方針 (対象エリア: 国道 5 号エリア)

「都市のにぎわいと潤いのおいが調和した沿道の街なみ」

事務局メモ：場所がすぐに思い浮かぶような名称についてご意見いただきたい。

5. 駅前市街地の方針 (対象エリア: 市街地北・南側エリア、飲食商業エリア)

「個性があり魅力と賑わいを感じる街なみ」

「駅からの利便性を活かした住商混交の街並み」

「眺望に配慮した落ち着きのある住環境と商業施設が調和した街なみ」

■景観形成ガイドライン

景観づくりのテーマや方針に基づき、駅周辺の景観形成のガイドラインを「景観づくりのポイント」とその景観を「実現するための取組アイデア」に分けて整理します。

なお、ガイドラインは主に私有空間に関する事項(●)、主に公共空間に関する事項(○)、私有及び公共空間両方に関する事項(◎)に分類して記載します。

1. 駅施設・駅前広場の方針（対象エリア：駅前広場(東側)エリア、駅前広場(西側)エリア) 「羊蹄の四季の恵み ～ ふるさとの風景と玄関口にふさわしい潤いのある空間 ～」

【景観づくりのポイント】

1-1. 羊蹄山への眺望と緑の演出によるおもてなしの雰囲気創出

実現するための取組アイデア

○駅前広場の緑化

- ・ 公園や街路などを含め駅前広場で積極的な緑化や植栽を行うことで、来訪者に安らぎを与え、おもてなしの印象を伝えることができます。



「富士市景観形成基本計画」より



駅と公共施設を連結する歩行者広場
(那覇市)



駅前広場の歩行者空間 (福岡市)

「松山駅周辺拠点地区まちづくりガイドライン」より

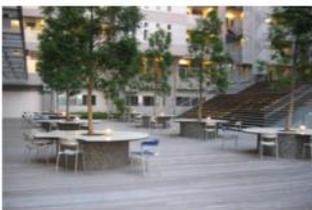
関連する景観計画の景観形成基準：

1-2. 人々が滞留し非日常の賑わいが生まれる空間づくり

実現するための取組アイデア

○ベンチなどによる滞在空間の創出

- ・ ベンチやテーブルの設置などにより、駅を行き交う人々が心地良く滞留できる空間がつけられます。
- ・ 四季を通した様々なイベント等を開催できる溜まり空間を確保することで、駅前空間での非日常的な賑わいが生まれます。



椅子やテーブル、植栽と一体となった場

「(札幌市) オープンスペースガイドライン」より



駅前広場の緑化空間とベンチ (福岡市)



いずみがおか広場 (堺市)



河川占用によるマルシェ (広島市)

「松山駅周辺拠点地区まちづくり
ガイドライン」より

関連する景観計画の景観形成基準：

1-3. 駅前通りへ人々を導く空間づくり

実現するための取組アイデア

○駅前通りとの連続性

- ・ 緑化や舗装などの要素について駅前通りと統一性を持たせ、連続性の創出により視線誘導を行うことや、バリアフリー化により、賑わいのある駅前通りへの人々を導くことにつながります。



建物の配置・高さや色彩等、
デザインコードを定めたイメージ

「松山駅周辺拠点地区まちづくりガイドライン」より

関連する景観計画の景観形成基準：

2. 左右の軸の方針（対象エリア：西3丁目通エリア）

「駅前広場と一体感のある おもてなしを感じる街なみ」

【景観づくりのポイント】

2-1. 駅前広場と一体となった空間形成

実現するための取組アイデア

○無電柱化の検討

- ・ 駅前広場との一体感を出し、国際リゾートの玄関としての全体の印象づくりには、無電柱化が求められます。

○沿道の緑化

- ・ 歩道には花壇による“花の帯”をつくることで、賑わいを感じる華やかな印象になり、緑による駅前広場との一体感を図ることができます。



浜松市浜松駅南口花壇



札幌市白石駅花壇



「松山駅周辺拠点地区まちづくりガイドライン」より

●緑化や歩行空間の設えへの配慮

- ・ 建物と道路の間にオープンスペースを設け、樹木等を配置することで、駅前広場と一体となった空間づくりにつながります。
- ・ 隣接する建物や工作物、植栽の高さや形状、色彩等を調和させることで、連続性を表現することができます。



関連する景観計画の景観形成基準：

2-2. 駅から羊蹄山への眺望の配慮

実現するための取組アイデア

- 羊蹄山を意識した建築物の配置、工作物や植栽のプロポーション
- ・ 羊蹄山への眺望を遮らないよう、建築物や工作物、植栽についての高さや設置位置、調和のとれた色彩への配慮をすることで、より山なみへの眺望が意識できるようになります。
- ・ 建物の屋上に設備機器を設置しないなど、眺望に影響のない設置についても配慮が必要です。



「高岡市新幹線駅周辺景観形成ガイドライン」より

関連する景観計画の景観形成基準：

2-3. 国際リゾートの玄関口となるおもてなしの街並みづくり

実現するための取組アイデア

- 緑化による潤いの創出
- ・ 敷地内の植樹や、花壇の設置、ベランダガーデン、オープンスペースの緑化などで、駅前におけるおもてなしを感じる質の高い空間になります。
- ・ 通りに面する部分の植物の種類を工夫することで、四季の変化が感じられます。



歩道と建物の間の植栽スペース（熊本市）



店舗・マンション前の植栽の工夫（京都市）

「松山駅周辺拠点地区まちづくりガイドライン」より



ヨーロッパ（ドイツ、イギリス）でのベランダガーデンの例

● 駅舎からの眺望確保を意識した屋外広告物の掲出

- ・ 広告物は直接的な表現やけばけばしい色彩を避け、切り文字や箱文字などを用いることで洗練させるなど、できる限り恒久的でシンプルかつわかりやすさを意識することが大切です。
- ・ 広告物は必要最小限の数と大きさにし、低層部にできるだけ集約させることで、雑多な印象を与えることを防ぎます。また、中高層部の壁面へ広告物を掲示する場合は、建物名といった最小限の情報のみにするなどの工夫が必要です。
- ・ 歩行者の通行や道路標識の視認性、道路の見通しを確保できる場所に広告物の設置をすることで、安全性を高めることができます。



●山並みのスカイラインをさえぎるほど高く、建物とのバランスを無視した広告物は、賑わいよりも煩雑さを印象付ける。

「松本市景観計画デザインマニュアル」より

● 建物の配置や形状の連なり

- ・ 大きな壁面がある建物は、一面単調で圧迫感を感じさせないように、低層部と中高層部のデザインを切り替え、通りに面して入口やお店等を設けることで、威圧感を感じさせない、歩行者に寄り沿うまちなみになります。
- ・ 建物の壁面線や軒の高さなどを揃えることで、連続性を感じ、建物の前か横にオープンスペースを設けることでゆとりを感じることができます。



「松山駅周辺・大手町通り景観づくりのポイント」より

関連する景観計画の景観形成基準：

3. 正面の軸（駅前通り）の方針（対象エリア：駅前通りエリア）

「歩く楽しみを感じて集まり にぎわい広がる駅前通り」

【景観づくりのポイント】

3-1.安全・安心で分かりやすい歩行空間の確保

実現するための取組アイデア

◎四季を通して安全・安心な歩行空間

- ・ 楽しく歩いて巡れるよう、歩行者の妨げにならない屋外広告物の配置を心掛け、歩道除雪を工夫し、一年を通して安全・安心な歩道の確保を図ることが大切です。



改善前のイメージ



改善後のイメージ

「長岡市広告景観ガイドライン」より

事務局メモ：空き店舗や空き地の前の歩道除雪について、現状では課題レベルの整理になっている。具体的方策の検討が課題。

◎通り名や案内サインの設置

- ・ 各通りと駅前通りの結節点を中心に、親しみのあるデザインや落ち着いた色彩の案内サイン等を設置することで、駅前通りの雰囲気に対応しい賑わいを演出し、人々の誘導につながります。



撮影スポットの紹介
(福岡市)

「松山駅周辺拠点地区まちづくりガイドライン」より



サインの顔面に森林の画像を用い、周囲の自然景観に同化させたサイン【スペイン】



模倣する歴史的建物と、造形的な街灯のデザイン性を担えない役えめな装れ幕【スペイン】

「松本市景観計画デザインマニュアル」より

関連する景観計画の景観形成基準：

3-2.空への広がりのある明るい道路空間の確保

実現するための取組アイデア

○空への開放感を創出する無電柱化の検討

- ・ 店への入り口や除雪の妨げにならないよう、地上機器の位置への配慮や、無電柱化の検討が必要です。

● 圧迫感の少ない現在のまちなみを活かした建物の配置と高さ

- ・ 中高層（4階以上）の建物はセットバックさせ、周囲や空に馴染む色彩やデザインとし、スカイラインを確保した高さにすることで、通りからの圧迫感を和らげ、空への広がりを感じることができます。

事務局メモ：今後、具体のシミュレーションなどを行い、高さセットバックの関係性を整理したい。



「松本市景観計画デザインマニュアル」より

関連する景観計画の景観形成基準：

3-3.歩行を促す賑わいがあり居心地の良い空間づくり

実現するための取組アイデア

●通りに開かれた建物低層部の設え

- ・ 間口は駅前通りに面して配置し、建物低層部をガラス壁面や大きな間口にすることで、建物室内への見通しがよくなり、建物内部の賑わいが通りへにじみ出すことが期待できます。
- ・ 通りに面して壁面後退距離が少ない既存建物については、間口部分をセットバックすることで、ゆとりのある印象となります。
- ・ 飲食店などについては、屋内と屋外の緩やかなつながりをつくるため、オープンテラスを設置することで、駅前通りや歩道へ賑わいのにじみ出しが期待できます。



沿道から店舗の様子が分かるファサードデザイン



【神奈川県横浜市】



「松本市景観計画デザインマニュアル」より



開口の大きな店舗（物販）



開口の大きな店舗（飲食店）



オープンテラスの例

「松山駅周辺・大手町通り景観づくりのポイント」より

●町民の暮らしに対応した用途

- ・ 建物の低層部は町民の日常生活に対応した用途を誘導し、日常的に良好な歩行空間を創出する形態や意匠、緑化に配慮することが大切です。



賑わい施設が並ぶ沿道（横浜市）



内部の賑わいの様子が外部からも見える回遊性を高める沿道（高松市）

「松山駅周辺拠点地区まちづくりガイドライン」より

●安全性と景観へ配慮した駐車場の配置

- ・ 歩行者優先の観点から、駐車場は可能な限り駅前通り側に設けないことが必要です。やむを得ない場合は、歩行者の安全確保に配慮した出入り口や、周辺と統一感のある色彩・デザイン、緑化などを行うことで修景し、威圧感の軽減と周辺環境との調和を図ることが大切です。



外観の確保

「岡岡市新幹線駅周辺景観形成ガイドライン」より



建物とオブジェ



▲舗装の工夫によって、駐車場はちょっとした広場のよう感じられます。(高野山)

「我孫子市景観計画」より



駐車場出入り口

「松山駅周辺拠点地区まちづくりガイドライン」より

●緑や花、ベンチ、オープンカフェ等の設置

- ・ 建物のセットバックでできたスペースに、休憩がができるベンチやテーブル、日よけになるパラソルや庇を設けることで、人を呼込む店構えとなり、駅前通りを歩き交う人々が心地良く滞留できる空間を提供できます。
- ・ 活用されていないオープンスペースに、滞在空間の充実や花壇の設置をすることで通りの雰囲気も明るくなります。



緑や花卉を配置した例



ベンチを配置した例



テーブルとイスを配置した例



日よけ TENT を設置した例



ベンチと照明を設置した例

「松山駅周辺・大手町通り景観づくりのポイント」より

●間接照明等の活用

- ・ 間接照明や屋内から漏れる灯りなどの温かみのある光により、柔らかな印象をもたらし、夜間のまちなみにぬくもりと安心感を与えることができます。
- ・ 夜間は、暖かい光の店舗照明や室内の灯りが外へ伝わるパイプシャッターなどを用いた演出が効果的です。

間接照明によるアプローチの富士山
(大阪府大阪市)店舗の漏れ明かりによる光の確保
(横浜市)

「松山駅周辺拠点地区まちづくりガイドライン」より

関連する景観計画の景観形成基準：

3-4.統一感のあるまちなみづくり

実現するための取組アイデア

◎空き地を活用した賑わいづくり

- ・ 空き地については、コンテナハウスの設置による交流スペースづくりや、イベントとしてフードトラックを設置するなど、賑わいを創出する場としての活用が期待されます。
- ・ コンテナハウスやフードトラック等を設置する際は、周囲の景観に調和した色彩や意匠・形態に配慮することが大切です。



(公益財団法人 前橋観光コンベンション協会「前橋まるごとガイド」Web サイトより)



岡山県の鳥城公園(石山公園地区)オープンカフェ等運営事業(広報連絡様式第3号より)



長崎県松浦市児童館跡地の活用「みんなの子育て広場 URACCO」(福岡大学景観まちづくり研究室ブログより)



北青山三丁目地区まちづくりプロジェクト「ののあおやま」にある当番制のキッチンカー(森の当番 Facebook より)

●建物や工作物の統一性

- ・ 建物や工作物、屋外広告物は、高さや形状、色彩、窓面の構成など、取り付け方に配慮することで、統一感のあるまちなみを創出できます。
- ・ ワンポイントで使用するアクセントカラーは、周囲とのコントラストで目立つため落ち着いた色彩でも効果があり、効果的に用いることで、周辺と一体的な空間をつくることができます。



賑わいを演出するアクセントカラー 低層部のアクセントカラー

「松山駅周辺・大手町通り景観づくりのポイント」より



ポイントとなりながらも統一感のある広告物(駅前通り)



歴史ある建物の美観を損ねないよう控えめに表示された切り文字の例



建物のデザイン性を重視した控えめな切り文字の例



歩行者の視覚内におさまる高さに集約し、形状や配置を揃えている例



「台東区屋外広告物景観ガイドライン」より

●自動販売機の設置位置と色彩への配慮

- ・ 自動販売機の設置は、位置や外観の色彩について周囲との調和を図るための工夫をしましょう。



●b 外観の彩度を落として街並みに調和させる。

「松本市景観計画デザインマニュアル」より



「周南市景観形成ガイドライン」より

関連する景観計画の景観形成基準：

4. 国道5号の方針（対象エリア：国道5号エリア）

「都市のにぎわいと潤いのおいが調和した沿道の街なみ」

【景観づくりのポイント】

4-1. 屋外広告物に対する街並みとの調和

実現するための取組アイデア

● 周辺に配慮した屋外広告物の形状や意匠

- ・ 周辺の街並みとの調和に配慮し、派手な色彩や大きさや高さが突出している広告物は避け、アクセントカラーを効果的に用いるなど、洗練されたデザインや色彩にすることで、雑多な印象を与えず品格が感じられるまちなみになります。



関連する景観計画の景観形成基準：

4-2. 緑化による潤いの創出

実現するための取組アイデア

◎ 植樹柵や沿道などの緑化

- ・ 沿道店舗周り、駐車場などの緑化を推進することで、修景や潤いのある沿道景観を創出します。
- ・ 緑化の際は宿根草や落葉が少ない樹木など、維持管理に負担が大きくかからない種類に配慮することが大切です。



「府中市景観ガイドライン(緑化編)」より



「芦屋景観地区景観ガイドライン」より

関連する景観計画の景観形成基準：

4-3. 国道 5 号と駅前通りの結節点の魅力づくり

実現するための取組アイデア

◎誘導サインや植栽などによる誘導

- ・ 駅前通りから統一性と連続性を感じられる誘導サインの意匠や植栽の配置にすることで、国道 5 号から駅前通りへのスムーズな誘導に繋がります。

事務局メモ：スペースなどの問題から、公共側で何か設置するのは難しい状況。歩行者を駅前通りに誘導する、結節点の魅力付けの手法について要検討。



石材を活用した事例
【那覇市：宮里崎山町】



琉球石灰岩を活用した事例
【那覇市：那覇市ぶんかテラス館前】

「那覇市公共デザインマニュアル」より

関連する景観計画の景観形成基準：

5. 駅前市街地の方針（対象エリア：市街地北・南側エリア、飲食商業エリア）

「駅からの利便性を活かした住商混交の街並み」（市街地北側エリア）

【景観づくりのポイント】

5-1. 既存のゆとりのある雰囲気を活かした沿道空間

実現するための取組アイデア

●調和のとれたまちなみ形成

- ・ メルヘン通りは連続性を意識し、建築物や工作物、屋外広告物については彩度の高い色彩や規模の大きいものの設置は避け、周辺の住環境と調和することで、現在のゆとりと落ち着きを継承したまちなみとなります。

関連する景観計画の景観形成基準：

5-2. 周辺の住環境と調和した利便性の高い空間

実現するための取組アイデア

○住環境に配慮した中高層施設の配置誘導

- ・ 宿泊施設など比較的高層の施設の建設が想定されるエリアであり、落ち着いた色彩や建物のセットバックによるゆとりのある配置などにより、周辺の落ち着いた住環境と調和することが大切です。駅施設や旭ヶ丘からの眺望景観への配慮も必要になります。

関連する景観計画の景観形成基準：

「眺望に配慮した落ち着いた住環境と商業施設が調和した街なみ」（市街地南側）

5-3. 歩行者や車両を分かりやすく誘導し落ち着いた沿道空間

実現するための取組アイデア

◎建物更新を見据えたまちなみ形成

- ・ （仮称）俱知安 IC と国道5号を連絡する南3条通りは、交通需要の増加による建物更新を見据え、周辺環境に調和した建物や工作物の色彩・意匠・形態に配慮し、前面道路からの後退距離や緑化スペースの確保することで、沿道の秩序あるまちなみ形成へとつながります。

○結節点や各通りのあり方の検討

- ・ 南3条通は IC アクセス路となるため、今後土地利用の変化が見込まれ、町外からの来訪者にとってまちなみイメージを作る重要な通りです。そのため、南3条通から駅前通りへのサインシステムによる分かりやすい誘導や幅員がやや狭いなかでの雰囲気づくりなど、結節点や各通りのあり方の検討をします。



「台東区屋外広告物景観ガイドライン」より



「茅ヶ崎市公共サインガイドライン」より



関連する景観計画の景観形成基準：

5-4. 羊蹄山への眺望を大切にした空間

実現するための取組アイデア

●眺望に配慮した建築意匠や配置

- ・ 市街地南側では、駅東口から見える羊蹄山の眺望に配慮し、山並みのスカイラインを超える規模や視界を遮る配置は避け、まちの雰囲気合った形態意匠の建築物にすることで、視点場から山なみへの連続性を感じることができます。



「松本市景観計画デザインマニュアル」より

関連する景観計画の景観形成基準：

5-5. 緑化による潤いの創出

実現するための取組アイデア

●建物前面や敷地内の緑化による沿道の潤いづくり

- ・ 建物の前面などに緑化や植栽をすることで、修景や潤いのある沿道景観を創出することができます。



「高岡市新幹線駅周辺景観形成ガイドライン」より



1階部分を活用した緑化空間

「松山駅周辺・大手町通り景観づくりのポイント」より

関連する景観計画の景観形成基準：

「個性があり魅力と賑わい感じる街なみ」(飲食店商業エリア)

5-6. 通り毎に個性ある街並みの創出

実現するための取組アイデア

○通りの特性に応じたあり方

- ・ 狭い通りに飲食店などが軒を連ねており、賑わいにつながる通りの雰囲気を醸成していくことが大切です。

●通りの南北それぞれの連続性を意識したまちなみ形成

- ・メルヘン通りにおいては、北側は住環境、南側は商業施設と、通りを挟んで性格が異なりますが、連続性のある軒高やデザイン、色彩等を用いた工作物を配置するなど工夫することで、周辺の住環境と商業施設が調和した落ち着いたまちなみとなります。



スカイラインを揃えたまちなみ 「松山駅周辺・大手町通り景観づくりのポイント」より
 デザインや色彩を揃えたまちなみ 住居の近接する地域でのまち並みのアクセントとなる広告物の例
 住宅地の環境に寄り添うようにさりげなく、店構えや建物と一体的に品良くしつづれた
 「台東区屋外広告物景観ガイドライン」より

関連する景観計画の景観形成基準：

5-7. 飲食店や宿泊施設等による賑わいを感じる繁華街の街並みの創出

実現するための取組アイデア

○高層施設の配置誘導

- ・ 宿泊施設など比較的高層の施設の建設が想定されるエリアであり、落ち着いた色彩や建物のセットバックによる配置の工夫などで、周囲の街なみに合ったものとします。

●華やかな賑わいを感じる意匠や屋外広告物、照明

- ・ 俱知安町の繁華街として、昼も夜も賑わいを感じるまちなみとするため、商業施設の低層部は、周囲のまちなみとの調和を図りながらも、アクセントカラーを効果的に用いるなど、店舗の個性が光るよう開放的な意匠としましょう。
- ・ 屋外広告物等は、歩行者の目線に立ち、形状や大きさ、素材、設置位置色彩などに統一感を持たせながらも、アクセントカラーを効果的に用いるなど、店舗のイメージに合ったデザインにすることで、店とまちなみのイメージアップを図ることができます。けばけばしい色彩や巨大な屋外広告物は避けましょう。
- ・ 夜の照明は、繁華街の賑わいを感じられるよう、周囲との連続性に配慮しましょう。



近隣店舗で建築物外装のイメージを統一した例



小スペースに広告物やオブジェを配置した例



建築物と一体化したテナントビルの集合看板の例

「新宿区景観形成ガイドライン 屋外広告物に関する地域別ガイドライン（神楽坂地区）」より

関連する景観計画の景観形成基準：